

文化遺産総合活用推進事業 実施計画

1 都道府県・市区町村名	福島県いわき市	2 補助事業の種類	地域文化遺産活性化
3 実施計画の名称	文化を活かしたいわき復興プロジェクト		
4 実施計画期間	平成 28 年度 ～ 平成 32 年度		
5 実施計画の概要			
<p>いわき市は、東日本大震災により、甚大な被害を受けており、復興を進めているところである。 いわき市には、じゃんがら念仏踊り、獅子舞、磐城平城跡（磐城平城跡塗師櫓石垣）をはじめ、点在する寺社仏閣など様々な有形、無形の民俗文化財、文化遺産が受け継がれているが、後継者不足、保全活動の継続が難しい等の課題を抱えている。 このような背景の中で、いわき独自の文化を“絆”に、市民や地域住民がつながり、地域コミュニティを醸成し、そして、地域活性化を目指す「いわき復興プロジェクト」を実施する。</p>			
6 実施体制			
<p>実施主体：いわき市文化活用実行委員会 （構成団体：いわき地域学会、いわきフラオンパク実行委員会などを中心とした文化遺産や地域づくりに関連する団体）</p>			
7 実施計画における目標と期待される効果		別紙①のとおり	
8 補助事業の概要	(1) 補助金額	～平成28年度交付決定額： 43,228 千円	平成29年度申請額： 6,060 千円
	(2) 実施事業の概要	別紙②のとおり	
9 その他計画実施により想定される効果（定性的な効果を記載）			
<p>普及啓発の情報発信やモニターツアーの実施等により、地域の文化遺産や観光資源の関心や意識が向上することで、「いわき市人口ビジョン総合戦略」で掲げる目標1,000万人の観光交流人口の増加に寄与することができる。</p>			
10 その他事業（自主財源、民間団体、他省庁等からの補助（支援）を予定している事業など）			
事業概要：	<p>無形民俗文化財活用事業（自主財源） 次世代を担う子ども達に、地域で受け継がれている文化に誇りを感じ、豊かな心や感性を育ていける環境を整備すること、また地域文化の保存・継承を担う次世代育成や世代間や地域間交流促進を目的に、無形民俗文化財を学び、体験してもらう事業を実施します。 ※平成27年度時数：3校、平成28年度：3校</p>		
事業概要：	<p>伝えたい誇れるいわき醸成事業（自主財源） いわきが誇る歴史・文化・伝統等（「伝えたい誇れるいわき」）を①見出し、②学び、③PRし、後世へつないでいくことを通して、郷土愛/ふるさとの誇りを育み、本市の次代のまちづくりを担う人材を育成します。</p>		
11 「歴史文化基本構想」の策定や「歴史的風致維持向上計画」の作成・認定に向けた計画の見込等			
12 担当部局			
地方公共団体 担当部局課	いわき市 文化スポーツ室 文化振興課		

7 実施計画における目標と期待される効果 別紙

目標区分 1 :	地域の文化資源を活用した集客・交流					
評価指標区分 1 :	地域の祭礼行事等への入込客数					(具体的な指標は次のとおり)
具体的な指標 1 :	観光客・市民向けに無形文化財（じゃんがら念仏踊り、獅子舞）等の祭礼行事における入込客数			関連事業 :	事業①②	
目標値 1 :	平成 28 年度		500 人	⇒	平成 32 年度 1,000 人	
設定根拠 1 :	平成27年度3月11日に実施した普及啓発の取り組みでの入込数210人を参考とし、平成28年度では行事2回実施で入込客数500人であった。5年間で2倍の入込客数と設定					
進捗状況 1 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	
500 人	人	人	人	人	人	
0%						
目標区分 2 :	地域の文化資源を核としたコミュニティの再生・活性化					
評価指標区分 2 :	地域の文化遺産を活用した取組数（本事業の取組を除く）					(具体的な指標は次のとおり)
具体的な指標 2 :	いわき市の文化遺産を活用した取組（展覧会、学習、ツアー等）の年間取組数の合計			関連事業 :	事業④⑤、じゃんがら子百会、地域文化研究会等	
目標値 2 :	平成 28 年度		2 回	⇒	平成 32 年度 10 回	
設定根拠 2 :	ツアー販売、展覧会や学習を関連団体での自主実施を促進することで、平成32年度で10回以上を設定					
進捗状況 2 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	
2 回	回	回	回	回	回	
0%						
目標区分 3 :	伝統文化の継承体制の維持・確立					
評価指標区分 3 :	地域に誇りを感じる住民の割合					(具体的な指標は次のとおり)
具体的な指標 3 :	いわき市への居住継続意向「住み続けたい」と「当分の間は住み続けたい」の割合合計			関連事業 :	事業①②③	
目標値 3 :	平成 28 年度		85.2 %	⇒	平成 32 年度 89.0 %	
設定根拠 3 :	現行の後期基本計画では、平成 27 年度中間目標として、「住み続けたい」と「当分の間は住み続けたい」の割合合計を 89.0%という設定を踏襲					
進捗状況 3 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	
85.2 %	%	%	%	%	%	
0%						

8(2) 実施事業の概要 別紙

事業①：	文化映像の発信	実施団体：	いわき市文化活用実行委員会			
事業区分：	情報発信	事業期間：	平成 28 年度 ～ 平成 32 年度			
事業概要：	いわき市の無形の民俗文化財、市内各地に伝わり（100程度の保存団体が活動中）「じゃんがら念仏踊り」をはじめ、有形文化財等いわき市の文化遺産について、記録と普及啓発、情報発信を目的に映像記録の作成を行う。作成にあたっては、地区ごとの映像、また、海外向けの外国語表記の動画等の作成・情報発信を行う。					
評価指標区分：	・コンテンツダウンロード数（掲載HPや動画共有サイトで の再生回数等）			（具体的な指標は次のとおり）		
具体的な指標：	youtubeにおける再生回数、DVD閲覧数					
目標値：	平成 28 年度	1,000 回	⇒	平成 32 年度	5,000 回	
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	
1,000 回	回	回	回	回	回	
0%						
事業②：	文化遺産を活かした普及啓発イベントの実施	実施団体：	いわき市文化活用実行委員会			
事業区分：	普及啓発	事業期間：	平成 28 年度 ～ 平成 32 年度			
事業概要：	復興には、交流人口の獲得が不可欠であることから、無形・有形の民俗文化財について、市民・来訪者が定期的に楽しみ、参加できるような機会を創出する。通常、お盆のみに実施されるじゃんがら念仏踊りについて、それ以外の季節にも、定期的に楽しめるような体制を整備し、市民や来訪者が集まる祭典やイベント参加・開催し、地区毎の特性あるじゃんがら念仏踊り等を比較・披露し、多くの人と文化遺産を通じた交流を行う。					
評価指標区分：	・地域の文化遺産イベント等（本事業の取組を除く）におけるソーシャルキャピタル数（協賛企業・団体、賛同者等）			（具体的な指標は次のとおり）		
具体的な指標：	普及啓発イベントに出演・参加頂いた延団体数					
目標値：	平成 28 年度	18 団体	⇒	平成 32 年度	22 団体	
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	
18 団体	団体	団体	団体	団体	団体	
0%						
事業③：	文化遺産を活かした展覧会の実施	実施団体：	いわき市文化活用実行委員会			
事業区分：	普及啓発	事業期間：	平成 28 年度 ～ 平成 32 年度			
事業概要：	市内の集客施設（市内外の多くの人が集まる宿泊交流施設、市民や避難住民が集まるコミュニティサロン、市立図書館など）にて、じゃんがら念仏踊りをはじめとした無形・有形民俗文化財の写真パネル、解説パネル、用具を展示、解説パネルを展示する展覧会を開催する。					
評価指標区分：	・保存会への新規入会者数			（具体的な指標は次のとおり）		
具体的な指標：	展覧会等で文化遺産の保全・活用サポーターの募集を行い、サポーターの登録会員数					
目標値：	平成 28 年度	0 人	⇒	平成 33 年度	100 人	
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	
0 人	人	人	人	人	人	
0%						